

シアタークリエは 2007 年に三谷幸喜による作品、「恐れを知らぬ川上音二郎一座」を第一公演としてオープンしました。その前身は 1957 年開場の芸術座で、2005 年まで多数の演劇公演を行なっています。有名な劇作家の菊田一夫が芸術座のディレクターを務め、「暖簾」や「放浪記」などの日本オリジナルの演劇作品だけでなく、「奇跡の人」ような国際的な演劇作品も世に送り出しています。芸術座は初めて大衆向けにミュージカル公演を行なった劇場の一つであり、実際ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の最初の日本版は 1965 年にこの劇場で初演されました。

来場者が建物に近づくと、ガラスのファサードを通り大理石のロビーへと導かれます。ロビーに入ると台詞の壁に迎えられ、そこにはギリシャ悲喜劇の名文句がギリシャ語で書かれています。劇場ホールは地下階にあり、階段かエレベーターで向かいましょう。階段を下りる際、来場者は日本人芸術家山本晶による作品を鑑賞し、楽しむことができます。これらの作品は、それぞれ、喜怒哀楽といったシェイクスピアの戯曲における基本感情を表しています。

劇場ホールは主にミュージカルや演劇を上演し、600 人の観客を収容できます。観客の 80%以上は女性です。この劇場の演劇作品やミュージカルのほとんどは女性プロデューサーにより手掛けられています。

劇場は日比谷公園にほど近く、東京宝塚劇場の向かいにあります。